

平成26年度事業報告及び 歳入歳出決算の概要

医療施設特別会計



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字病院を取り巻く状況

医療政策の変化

- 医療と介護の再編成
- 病院機能の分化と地域医療連携の促進
- 急性期病床の削減

経営環境の変化

- 医療費適正化策の進展
- 診療報酬マイナス改定
- 医師確保困難

日赤の役割と責任

- 大規模災害への対応
- 公的医療機関としての使命

個々の病院の経営努力に加え、赤十字病院の総合力を生かした経営基盤の一層の強化が重要

災害医療

地域医療

安心・安全な医療

【事業実施方針】

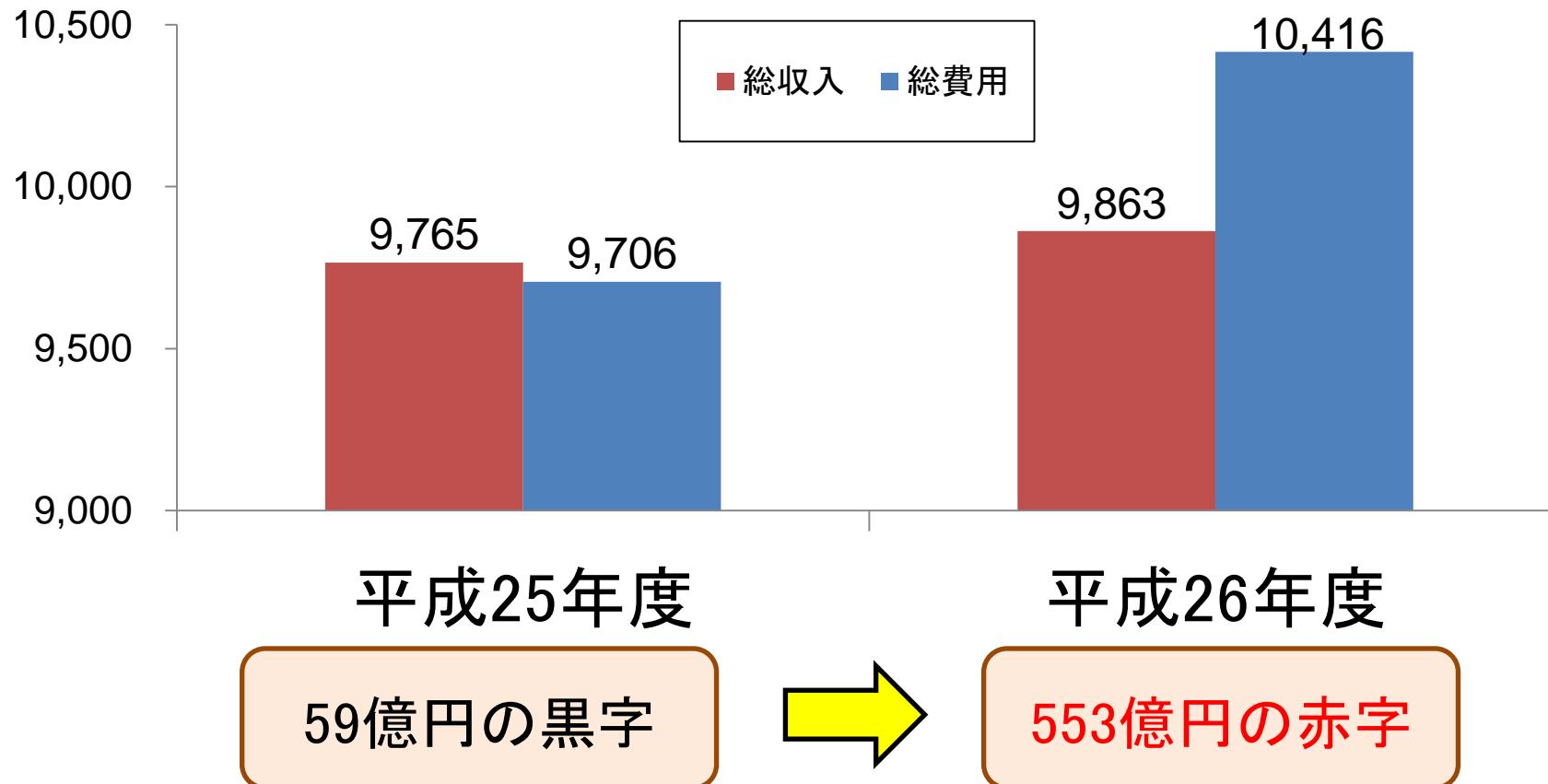
「赤十字病院グループの経営資源を
有効に活用して事業運営基盤を強化する」

平成26年度重点事項

1. 経営の健全化に向けた取り組み
2. 災害医療への取り組み
3. 地域医療への取り組み
4. 安心・安全な医療の提供

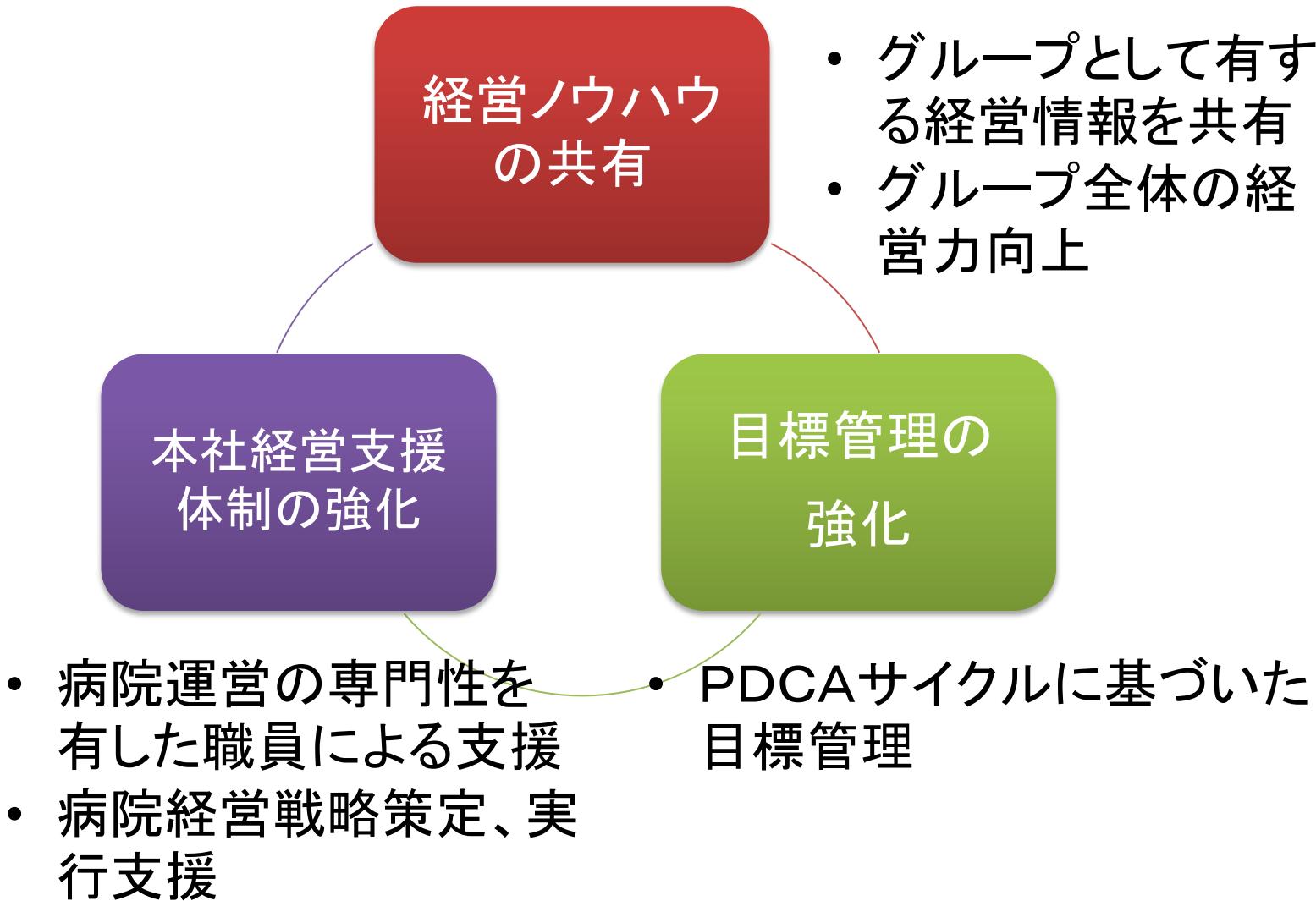
平成26年度の収支

(単位:億円)



1. 経営の健全化に向けた取り組み

(1) 経営改善方策



経営ノウハウの共有

- ・院長等の幹部から実務担当まで役職に応じた経営改善セミナーを開催
- ・病床機能報告のデータの分析と共有
- ・経営改善対策票を赤十字病院グループ内で共有

本社経営支援体制の強化

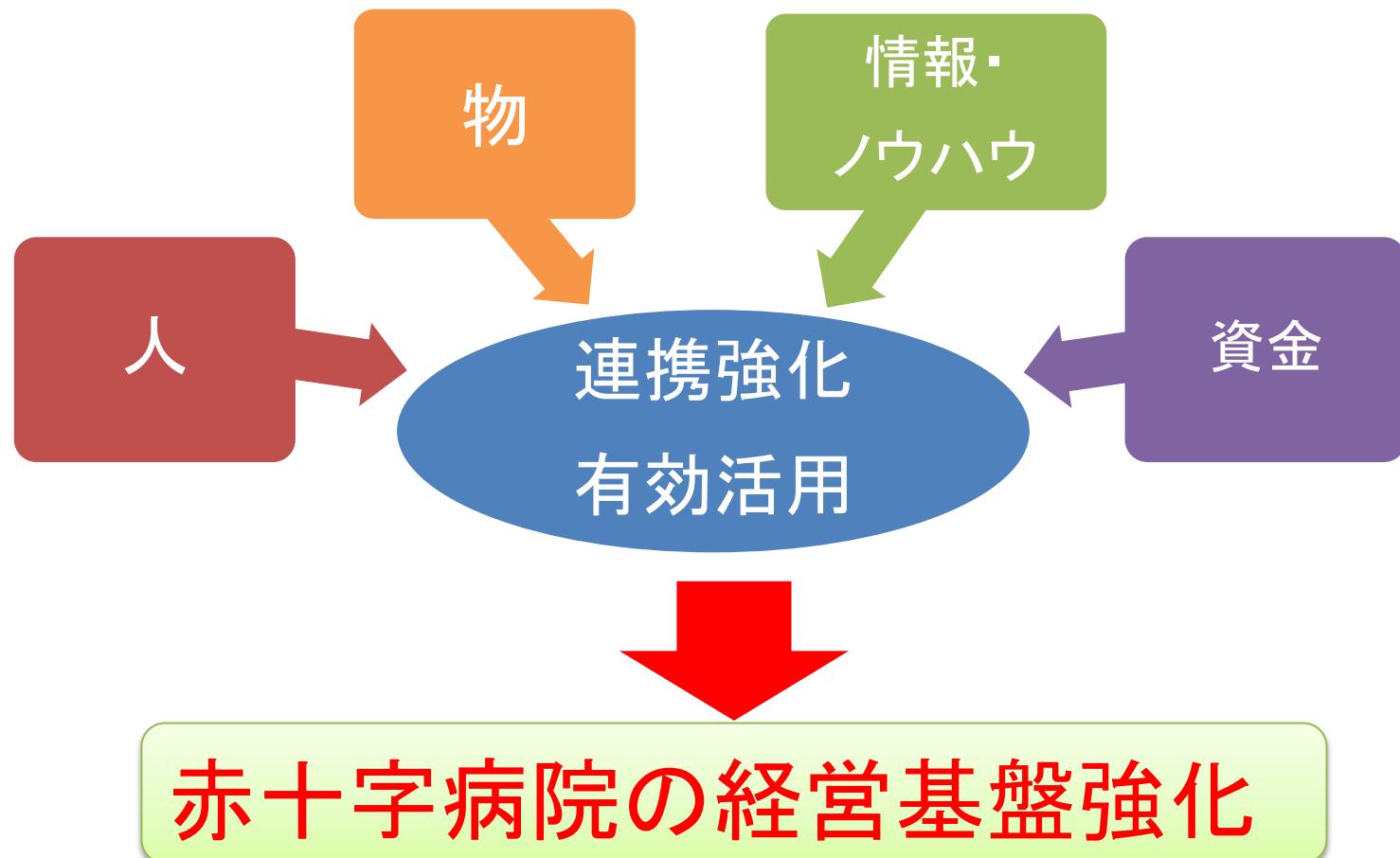
- ・専任の職員を対象病院に派遣し、直接支援を実施
- ・本社内で経営状況報告会を実施し、経営状況の把握と対策を協議
- ・半期ごとに経営改善対策票をもとに取り組み状況モニタリングし、改善支援
- ・月次決算データ、地域医療圏データを提供
- ・DPCデータ分析ソフトの導入、ベンチマークデータの提供

目標管理の強化

- ・病院ごとに改善事項、達成目標を設定し、経営改善対策票として作成
- ・半期決算データによる進捗状況を本社報告

(2) 経営資源の有効活用

赤十字病院グループとして連携を強化し、
経営資源を有効に活用する。



ア. 人材の派遣支援、育成

①医師派遣の取り組み

北見赤十字病院 医師6名

伊達赤十字病院 医師12名

浦河赤十字病院 医師32名

小野田赤十字病院 医師51名

小清水赤十字病院 医師4名

置戸赤十字病院 医師6名

清水赤十字病院 医師8名

高山赤十字病院 医師1名

川西赤十字病院 医師8名

飯山赤十字病院 医師1名

伊勢赤十字病院 医師2名

		平成25年度	平成26年度
医師	派遣者数	55名	131名
	派遣先病院	5施設	11施設
	派遣元病院	4施設	23施設

②看護師派遣の取り組み

浦河看護専門学校 看護師1名

浦河赤十字病院 看護師38名

秋田赤十字病院 看護師3名

災害医療センター 看護師1名

多可赤十字病院 看護師3名

柏原赤十字病院 看護師3名

盛岡赤十字病院 看護師1名

仙台赤十字病院 看護師1名

石巻赤十字病院 看護師2名

山梨赤十字病院 看護師2名

秦野赤十字病院 看護師3名

横浜市立みなと赤十字病院
看護師1名

飯山赤十字病院 看護師1名

		平成25年度	平成26年度
看護師	派遣者数	42名	60名
	派遣先病院	6施設	13施設
	派遣元病院	13施設	31施設

③人材の確保と育成

医師の確保と育成

- グループとして医師募集活動を実施
- 研修医等に対する研修会を実施

事務職員の育成

- 病院経営を担う幹部の養成
- 専門業務のスキル向上

看護職員の確保と育成

- グループ内看護師派遣制度の充実
- キャリア開発や継続教育の推進



日本赤十字社 赤十字病院グループ医師募集サイト

ホーム 全国の採用情報 退職医師等登録・紹介システムについて

ホーム 川西赤十字病院 〒384-2202 長野県佐久市望月318 0267-53-3011 ホームページ アクセスマップ (google map) 募集要項を見る

川西赤十字病院 光と水と空気が澄む、長寿の里「川西」で地域医療と一緒に担いましょう >院長からのメッセージ

院長からのメッセージ 施設組合長からのメッセージ 診療 募集 イベント・レジャー

トピックス

2015.3.30 川西赤十字病院の採用サイトを公開いたしました。

ホーム 全国の採用情報 退職者採用について プライバシーポリシー

赤十字病院グループ医師募集 ホームページ

イ. 物品(購買業務の強化、共同購入の推進)

➤ 赤十字ブランド品の導入

(赤十字ブランド品とは)

メーカーの既製品を共同購入品目として採用し、
製品パッケージに赤十字マークを使用

平成26年度実績

プラスチックグローブ 51施設、50万箱

➤ 医薬品等購買情報を調査、集計する

システムを導入

➤ 共同購入実績

平成26年度実績

・シリンジポンプ ・電子図書



赤十字プラスチックグローブ
(赤十字ブランド)

ウ. 情報・ノウハウの共有、コミュニケーション促進

➤ 赤十字病院情報共有サイト

- ・院長など幹部職員のほか、実務担当者の意見交換
- ・サイトを使用した調査、報告による事務の効率化

➤ WEB会議システム

- ・本社・病院間、複数病院間の会議での活用による業務効率の向上、コミュニケーション円滑化
- ・経営分析等各種研修セミナーや講義の開催

エ. 資金の有効活用

- ・病院建物建設資金と病院財政調整事業資金を相互に融通可能となるよう規則改正し、施設の資金需要に柔軟に対応
- ・赤十字病院が保有する運用可能資金を、資金需要のある赤十字病院への融資



【WEB会議システム】

2. 災害医療への取り組み

(1) 国内災害派遣実績

広島県大雨災害

に対し、10病院から
救護班17班を派遣



御嶽山噴火災害

に対し、11病院から
救護班13班を派遣



長野県神城断層地震災害

に対し、5病院から
救護班7班を派遣

災害からいのちを守る日本赤十字社

甚大な被害をもたらした自然災害等に対し、
赤十字病院グループとして迅速かつ継続的に対応

(2) 救護員の養成

- ・全国赤十字救護班研修会の開催
全4回開催 参加者数 **272名**
<H20以降 23回 1,473人養成>



全国赤十字救護班研修会

(3) 災害医療研修センターの整備

- 石巻赤十字病院に災害医療研修センターを整備(平成27年3月竣工)
- 災害医療に関わる人材育成、研修、研究、関連データの蓄積
- 国際赤十字の救援金により整備



災害医療研修センター

3. 地域医療への取り組み

(1) 地域医療構想(ビジョン)への対応

- ・ 急性期、回復期などの病院が有する機能を国に報告
- ・ 地域における役割と機能の明確化及び地域医療連携の推進

(2) 5疾病、5事業、在宅の政策医療への積極的な取り組み

【5疾病】

がん・脳卒中・急性心筋梗塞・
糖尿病・精神疾患

【5事業】

救急医療・災害医療・
べき地医療・周産期医療・
小児医療

+ 在宅

特に救急医療は、赤十字病院の使命として断らない救急を実践

(3) 地域の中核医療機関としての役割を担う赤十字病院

病院 92施設 診療所等

(主な機能)

高度救命救急センター(5施設)

救命救急センター(29施設)

小児救急医療拠点病院(7施設)

災害拠点病院(60施設)

ドクターヘリ所有病院(5施設)

感染症指定医療機関(32施設)

地域医療支援病院(52施設)

へき地医療拠点病院(17施設)

(平成27年3月現在)

6施設



4. 安心・安全な医療の提供

医療の質の向上

- ・統一した臨床指標に基づく評価とフィードバック
- ・他の病院団体(国立病院機構、日本病院会等)と共通指標に赤十字独自の項目追加(17項目)

医療安全対策体制整備

- ・「医療安全管理指針」により医療安全の基本的な方針を整理
- ・医療安全対策に関する調査報告書により情報の共有
- ・医療安全推進室長会議・管理者会議
- ・感染管理担当者会議、医療事故紛争担当者会議

医療安全にかかる人材育成

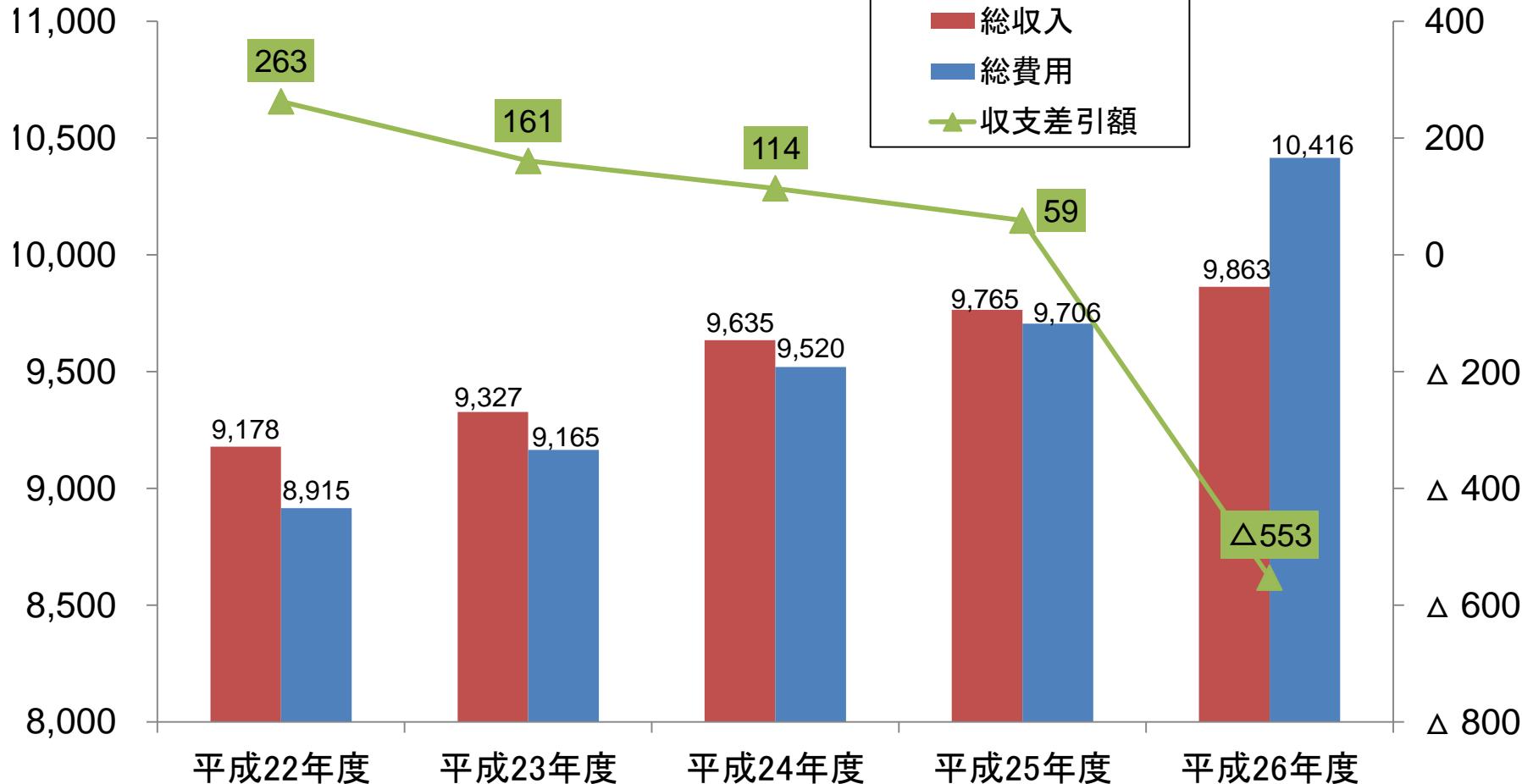
- ・医療安全に携わる職員に対し、資質の向上のため、継続的研修を実施
- ・医療安全管理者養成研修
- ・医療安全推進担当者研修
- ・医療対話推進者養成研修

医療事故・紛争への対応

- ・医療事故検討会を開催し、紛争解決、再発防止を支援
- ・「医療事故・紛争対応ガイドライン」により、事故等の対応の基本的な方針を提示

5. 収支の推移

(単位:億円)



収支差引額

平成25年度決算

平成26年度決算

黒字施設

46施設

59億円

→

△553億円

赤字施設

44施設

△109億円

→

30施設

80億円

赤字施設

60施設

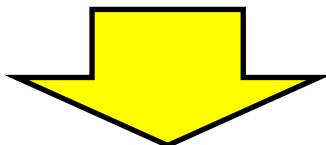
△254億円

→

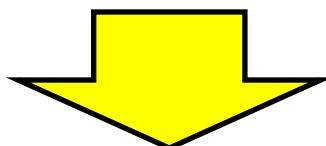
6. 医療施設特別会計(全体)収支状況

平成26年度医療特会全体

▲553億円

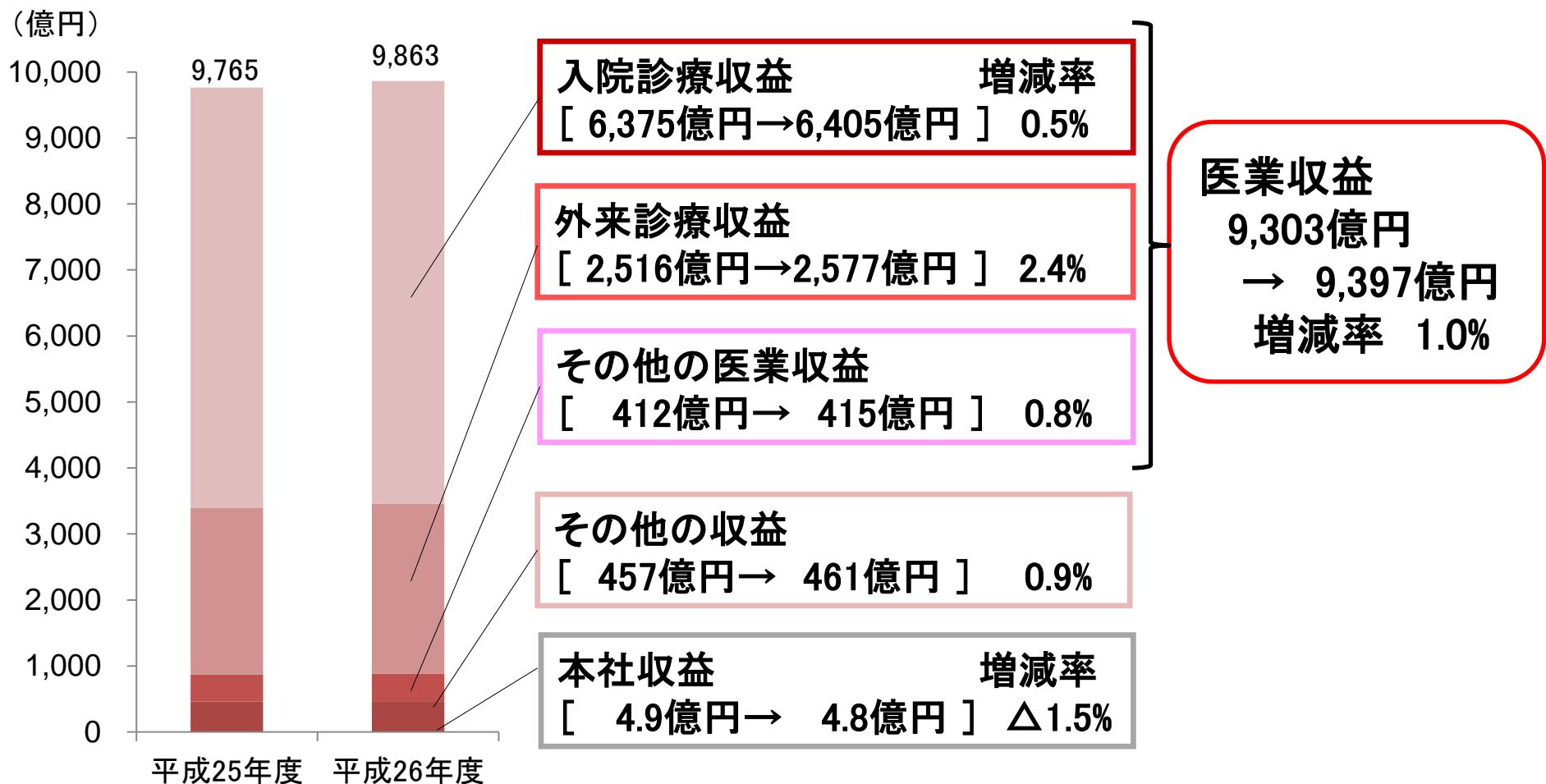


特殊要因:退職給付引当金追加計上の影響 ▲373億円



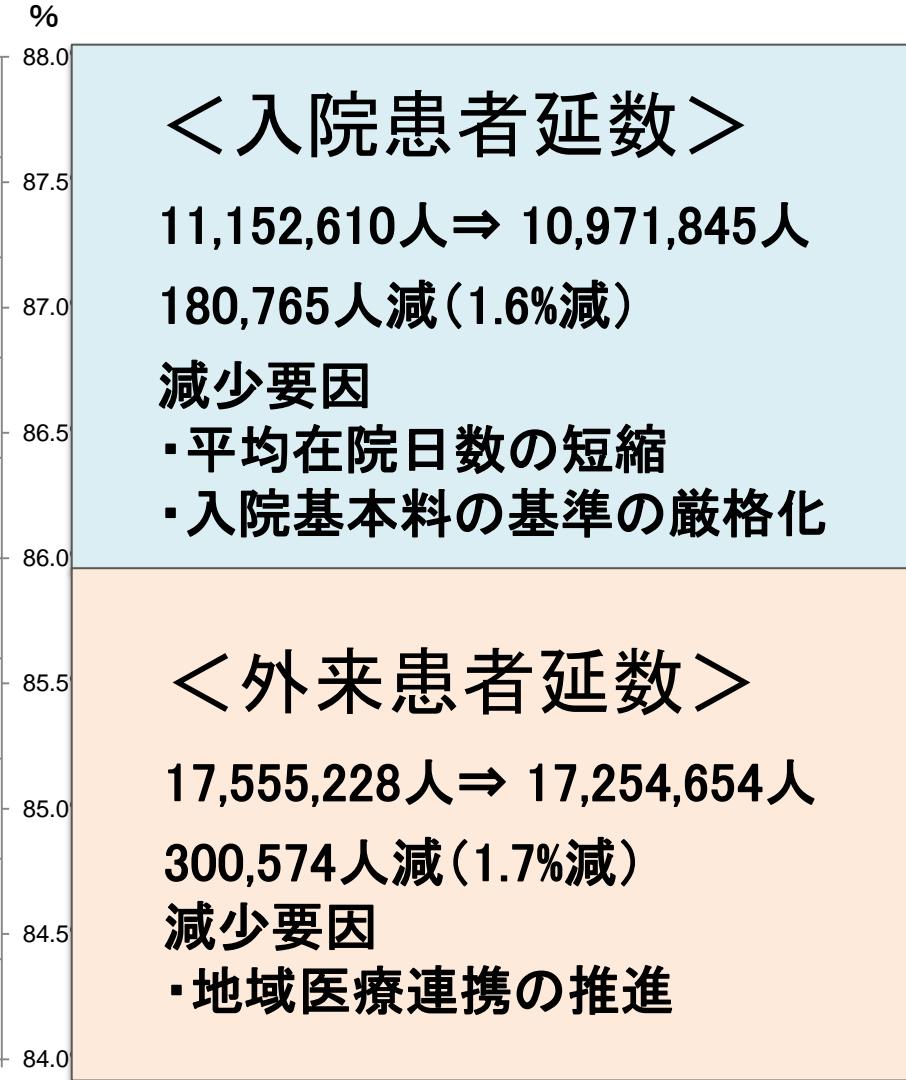
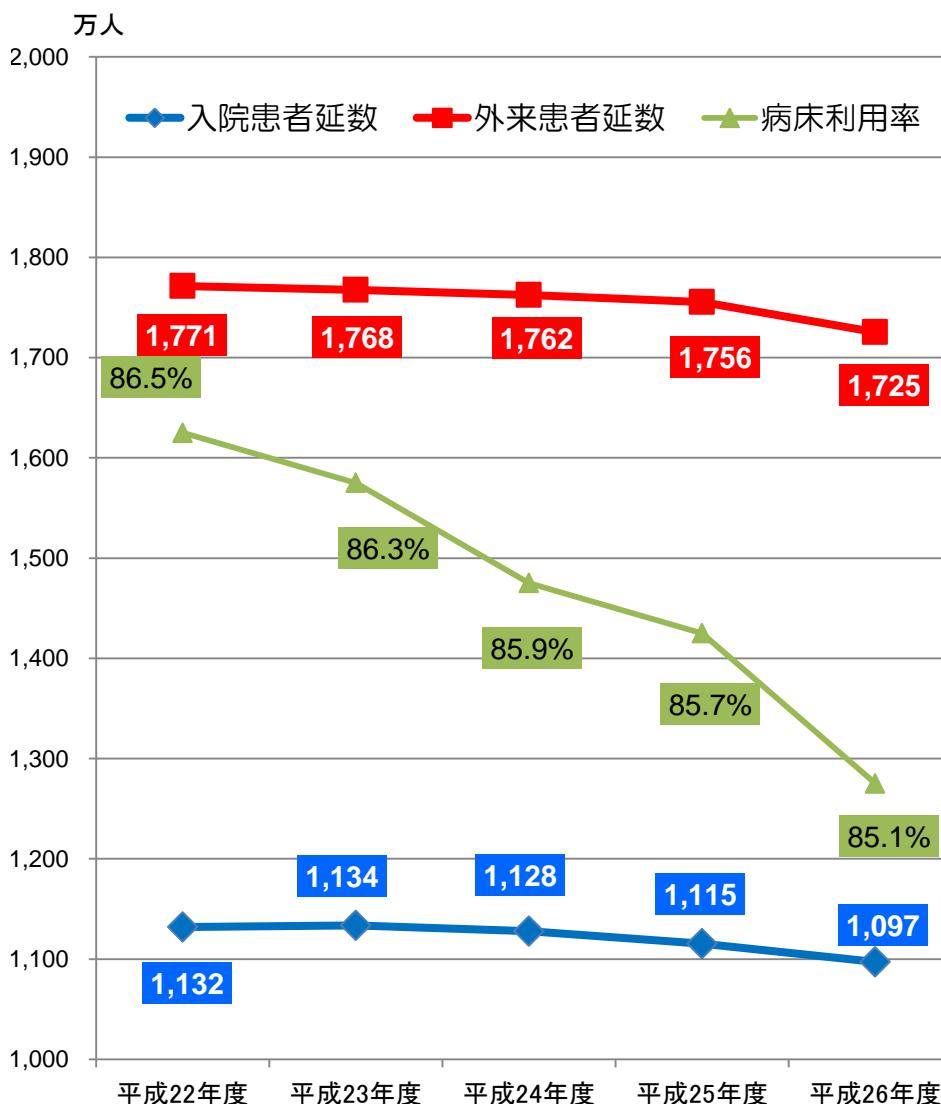
特殊要因を除いた収支 ▲179億円

7. 医療施設特別会計 収益的収入のあらまし

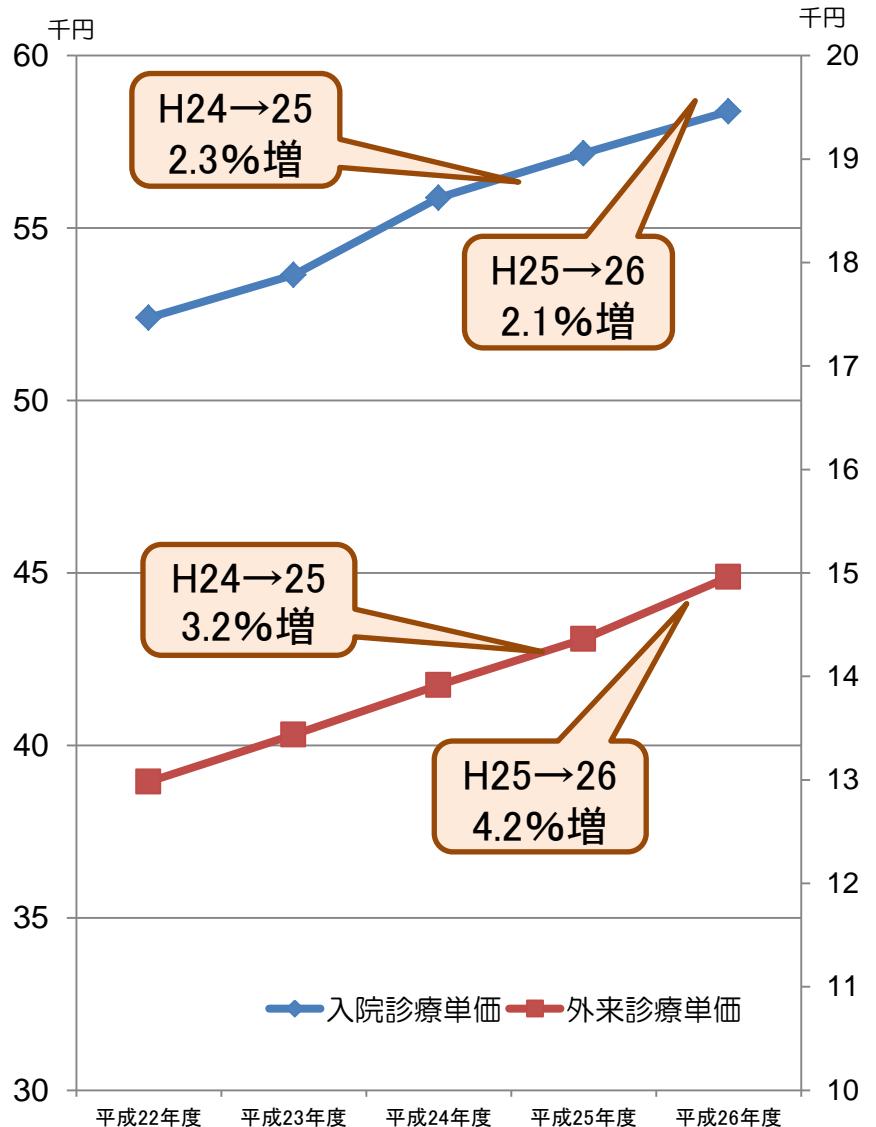


	平成25年度決算	平成26年度決算	増減率
収益的収入合計	9,765億円	→ 9,863億円	1.0%

8. 患者数と病床利用率の推移



9. 診療単価の推移



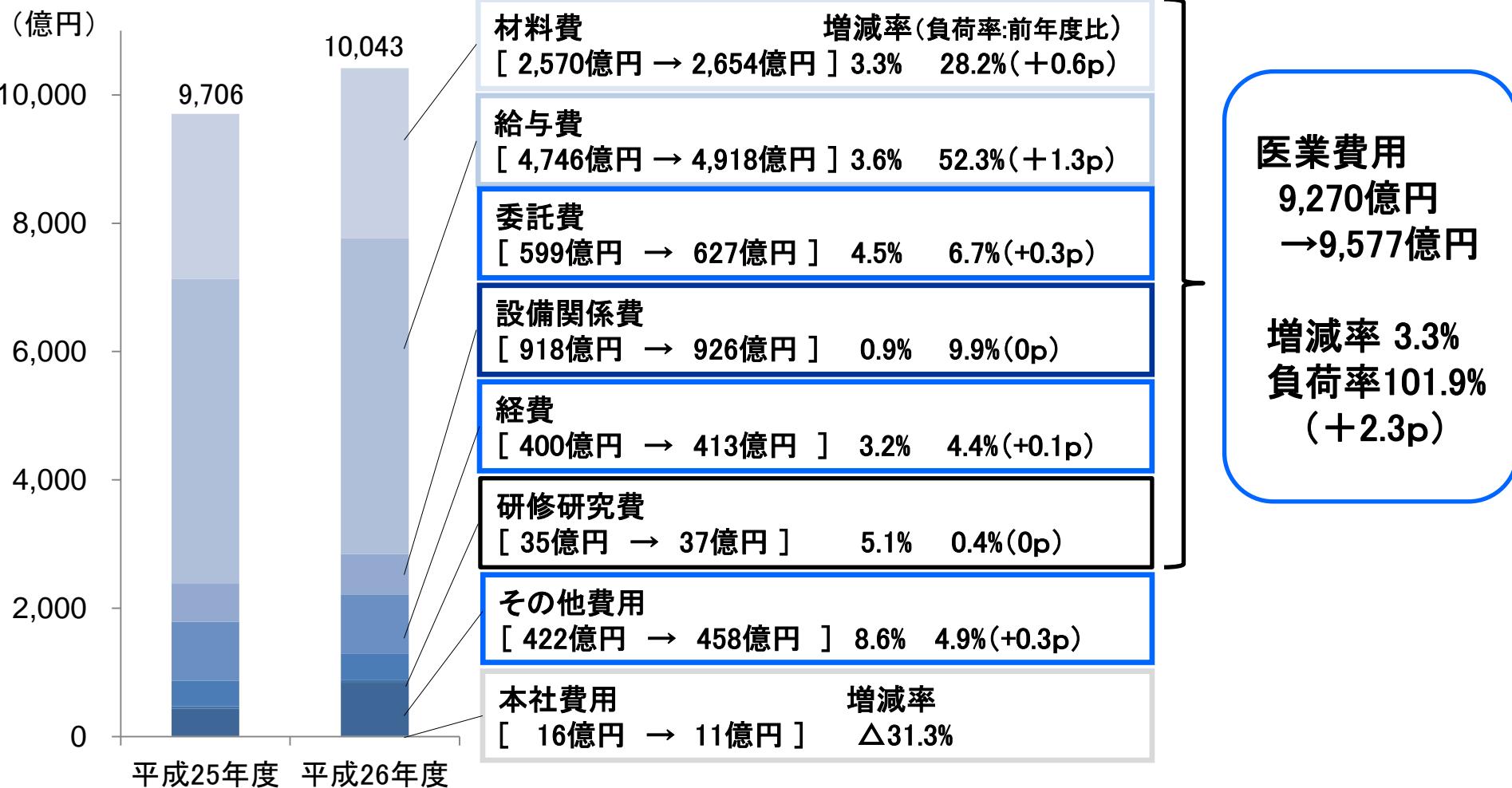
<入院診療単価>
入院 57,166円⇒58,380円
1,214円増、2.1%増

増加要因:
各種施設基準、加算の取得
高点数手術件数の増加

<外来診療単価>
外来 14,361円⇒14,960円
599円増、4.2%増

増加要因:
外来化学療法実施件数の増加、
地域医療連携の推進

10. 医療施設特別会計 収益的支出のあらまし



収益的支出合計	平成25年度	9,706億円	→ 平成26年度	10,043億円	(3.5%増加)
収支差引額	平成25年度	59億円	→ 平成26年度	△179億円	

* 比較の妥当性を確保するため、退職給付引当金の追加計上額は除いています。

11. 給与費・材料費の主な増加要因

材料費

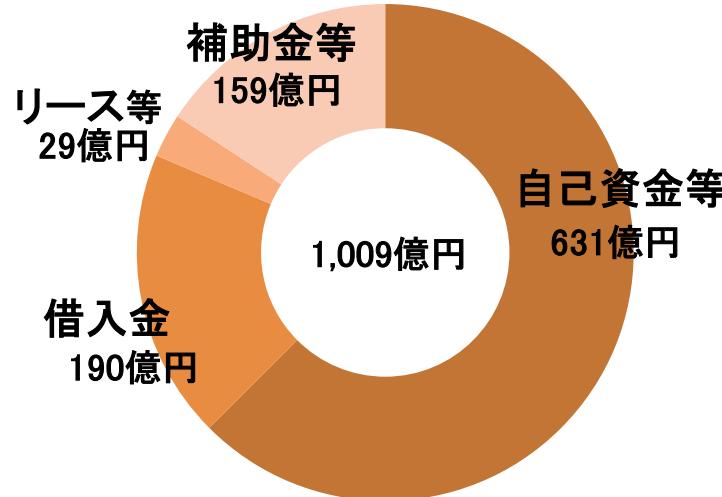
- ・消費増税による影響
- ・抗がん剤等、高額薬品の使用増
- ・高点数手術の件数増による診療材料の使用増

給与費

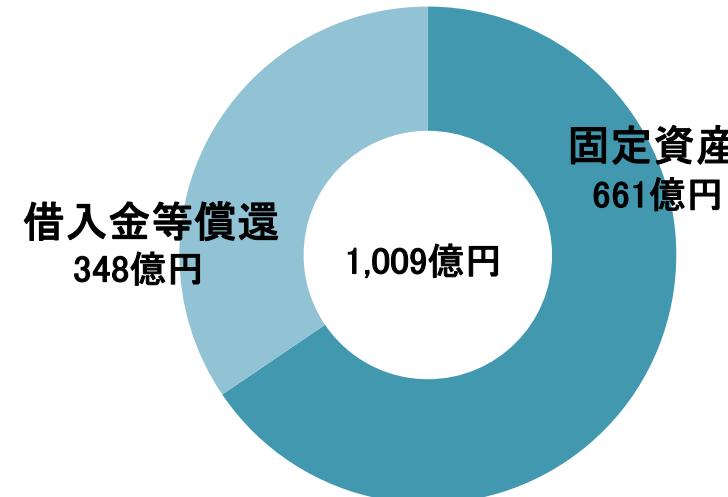
- ・診療体制の充実に向けた増員
- ・給与改定等による支給増

12. 医療施設特別会計 資本的収支のあらまし

【収入】



【支出】



資本的支出の内訳

固定資産(内訳)	金額		借入金等償還(内訳)	金額
建物・建物付属設備等	133億円	有形固定資産 合計412億円	借入金償還	281億円
医療用器械備品等	246億円		リース未払金支払	53億円
車両等	1億円		その他負債返済	14億円
土地	32億円		合計	348億円
無形固定資産	44億円		主な建築案件: 岡山、広島原爆、 益田、北見、石巻	
建設仮勘定	205億円			
		合計 661億円		